

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆訪日中国人客、12月45%減の33万人 関係悪化で3年11カ月ぶり減少

・日本政府観光局(JNTO)が発表した12月の訪日外国人客数で、中国人客が33万400人と前年同月比45.3%減少した。減少は新型コロナウイルスの影響があった2022年1月以来、3年11カ月ぶり。訪日客数全体でみると12月は361万7700人で同月として過去最多を記録。中国客の減少を他の国・地域からの増加が補った。

◆円買い介入、市場の想定ラインは160円 円高持続は1カ月との見方も

・日本の通貨当局による円安けん制のトーンが強まっている。市場関係者の関心は政府・日銀が実際に円買い為替介入に乗り出す円相場の水準。金融各社の専門家に政府の「防衛ライン」を予想してもらったところ、1ドル=160円と答えた人が最も多かった。介入の円押し上げ効果は1カ月程度との見方もあり、当局と市場の攻防は続きそう。

◆「磁気嵐」気象庁が観測、太陽フレア原因か 通信やGPSに影響の恐れ

・気象庁は地磁気観測所で、地球の磁場である地磁気の大きな乱れ「磁気嵐」を観測したと発表。大規模な太陽の表面での爆発現象「太陽フレア」によるものとみられる。船舶や航空機の短波通信の障害や、全地球測位システム(GPS)の誤差が大きくなるなどの影響が出る恐れがある。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆12月住宅展示場来場者、再び減少 6エリアが2ヶタ減

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団は2025年12月の住宅展示場来場者数を発表。来場者組数は12万8878組(前年同月比11.3%減)となり、前月の増加から再び減少に転じた。2025年度累計(4~12月)は181万7879組(同6.0%減)で、減少幅は再び拡大。展示場棟数は関東エリアで閉鎖があり、全国の棟数は2863棟(前月比8棟減)。

◆太陽光パネル、発電業者のリサイクル計画提出義務に 環境・経産省方針

・環境省と経済産業省はメガソーラー(大規模太陽光発電)事業者に、使用済みの太陽光パネルのリサイクル計画を事前に提出するよう義務づける方針。取り組みが不十分だと国が判断した場合は、事業者にリサイクル強化を求める勧告や命令を出す。パネルの廃棄は増加が見込まれ、資源の回収につなげる。

◆ノーリツ、米国で業務用ヒートポンプ給湯機 日本イトミックと開発

・ノーリツは業務用のヒートポンプ給湯機を米国で販売すると発表。冷媒に二酸化炭素(CO2)を使う環境負荷の低い製品を業務用の電気給湯機器を手がける日本イトミックと共同で開発、2026年中の発売を目指す。米国では脱炭素化の流れで業務用の需要拡大が見込まれる。2月2~4日にラスベガスの展示会で開発中の製品をアピールする。

« 注目商品 »

■パナソニック、最短15分で洗浄が完了するビルトイン食洗機

・隙間時間に食器・調理器具が洗えるビルトイン食器洗い乾燥機「A1シリーズ」「B1シリーズ」「C1シリーズ」を2月下旬に発売。帰宅後すぐに洗いたい弁当箱や、調理に使用したフライパンやまな板などの調理器具を「食事中」「調理中」に手早く洗える。



■HiKOKI、パワフルに切断するコードレス全ねじカッタ

・HiKOKI(ハイコーキ)から「コードレス全ねじカッタ CL 18DA」を発売。軟鋼W1/2の太径全ねじに対応するパワフルな切断能力と、1充電あたりの作業量の多さが特徴。切断後の切りくずを回収できるコレクトボックス、視認性を高めるLEDライトなど搭載。



■ミルウォーキーツール、パワーアップしたハンドグラインダー

・「M12 FUEL アングルハンドグラインダー M12 FDGA2-0」を発売。空圧式と比べて50%パワーアップし、回転速度は6,000~20,000min-1。アクセサリー互換性に優れ、76mmサンディング用アクセサリー、55mm切断用アクセサリーに対応。スピンドルロックにより交換可能。

